

何が問題？

放射線防護の 国際勧告改定案

9/11 (水)

18:30～

郡山市民交流プラザ
(ビッグアイ)

国際放射線防護委員会 ICRP が放射線防護に関する勧告を改定しようとしており、現在、草案をパブリック・コメントにかけています。ICRP の 2007 年基本勧告や、原発事故直後の混乱がすぎたあとの状況（現存被ばく状況）についての刊行物では、年 1～20 ミリシーベルトの下方から「参考レベル」を選択し、これ以上の地域での対策を優先すること、またこの「参考レベル」を年 1 ミリシーベルトに向けて下げていくとしています。しかし、今回の草案では「参考レベル」は「10 ミリシーベルトを超える必要はない」としています。これは何を意味するのでしょうか？ 草案のもととなった福島原発事故被害の認識は、妥当なのでしょうか？

とてもわかりづらい、この改定草案。しかし、ひとたび改定されれば、日本国内の放射線に関する法律にも反映される可能性があり、重要です。

このたび、ICRP に詳しい、高木学校の瀬川嘉之さんをお迎えし、今回の改定案の内容や問題点について解説していただきます。ぜひ、ご参加ください！

日時：2019 年 9 月 11 日（水）18:30～20:30

場所：ビッグアイ 7 階 郡山市民交流プラザ 第 2 会議室

講師：瀬川嘉之さん（高木学校）

内容：・放射線防護に関する現在の国際勧告

- ・ ICRP 勧告の改定の内容と問題点
- ・ パブコメを書いてみよう！

主催：ひだんれん、フクシマ・アクション・プロジェクト

国際環境 NGO FoE Japan

参加費：無料

問い合わせ先：国際環境 NGO FoE Japan

TEL：03-6909-5983 / FAX：03-6909-5986

